

平成27年10月6日

国土交通省中部地方整備局

三河港湾事務所

日々のチェックで現場事故の根絶を

～三河港神野地区の耐震強化岸壁の工事現場で安全パトロールを実施～

我が国の主要産業である自動車産業を物流面から支えるとともに、地震時において背後圏の緊急物資輸送や完成自動車等幹線物流の継続性確保のために、平成26年度より三河港神野ふ頭西地区において耐震強化岸壁(水深12m)の整備を行っています。

今回、三河港湾事務所の職員と三河港工事安全連絡協議会(※1)のメンバー合わせて10名により、神野地区耐震強化岸壁の工事現場の安全性及び作業環境の点検を平成27年9月29日(火)に実施しましたのでお知らせします。

※1：三河港工事安全連絡協議会とは、当事務所発注工事の受注者で構成される組織

<参考>

対象工事：平成26年度三河港神野地区岸壁(-12m)本体工事(その2)

受注者：あおみ建設(株)



パトロールの実施状況

●実施内容： 別紙

●配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、豊橋市政記者クラブ、
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

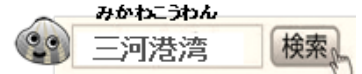
●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 保全課長 宮原(みやはら)

Tel 0532-32-3251

Fax 0532-32-5049

三河港湾事務所ホームページ：<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>



●パトロール内容

当日の現場は、気温 24℃と秋晴れのもと、地盤改良工(深層混合処理)を施工していました。

パトロール後の意見交換では、「地盤改良直後は施工箇所の地盤が軟らかいので注意が必要」や「安全表示が風によりなびいて見えにくくなっている」、「消火器が火元になりやすい場所に近すぎる為、緊急時に対応しにくい」などの改善意見があり、早速現場では是正を行いました。

パトロール実施の様子



改善意見への是正状況



【是正前: 軟弱地盤の危険箇所が非表示】



【是正後: 軟弱地盤の危険箇所をコーンで表示】



【是正後: 安全標示(注意喚起)が見やすいように番線で下部を結束】



夏も終わり、熱中症の時期は終わろうとしていますが、日中の寒暖差が大きいことから体調を崩しやすく、体調不良による事故の発生が懸念されることから、今後も安全パトロールを作業状況を踏まえて適宜、実施するとともに、引き続き工事現場の安全対策強化に取り組んでまいります。

※写真データを希望される方は●問合せ先までご連絡ください。